

2. グループ戦略

共通の目標を掲げグループネットワークを強化し、広域な地元商圈との共栄による地元活性化を図る。
一つのYMFGへと変革し、経営基盤の更なる増強を達成する。

目指すべき姿

地域を育み、ともに成長する金融グループ～Road to「YMFG ZONE」～

Zone of Over-regional Network Economy (地域を超えて各地域が密接に連携することで成長する経済圏)

基本目標

「一つのYMFG」への変革による地域との共栄

3つのブランド銀行を持つ金融グループとして、それぞれの地域に深く関わっていくとともに、地域同士を連携させ、地域を育ていく、グループ一体となった「一つのYMFG」へと変革し、グループ総合力の発揮により、地域活性化とYMFGの成長を図っていく。

重点施策

1. 「一つのYMFG」への変革

- (1) 一つになって「地域」へ
情報ビジネスへの意識転換
地域と深く関わる体制の強化
- (2) 一つの「YMFG」として
「YMFG」への意識転換
「YMFG」による統制機能の強化

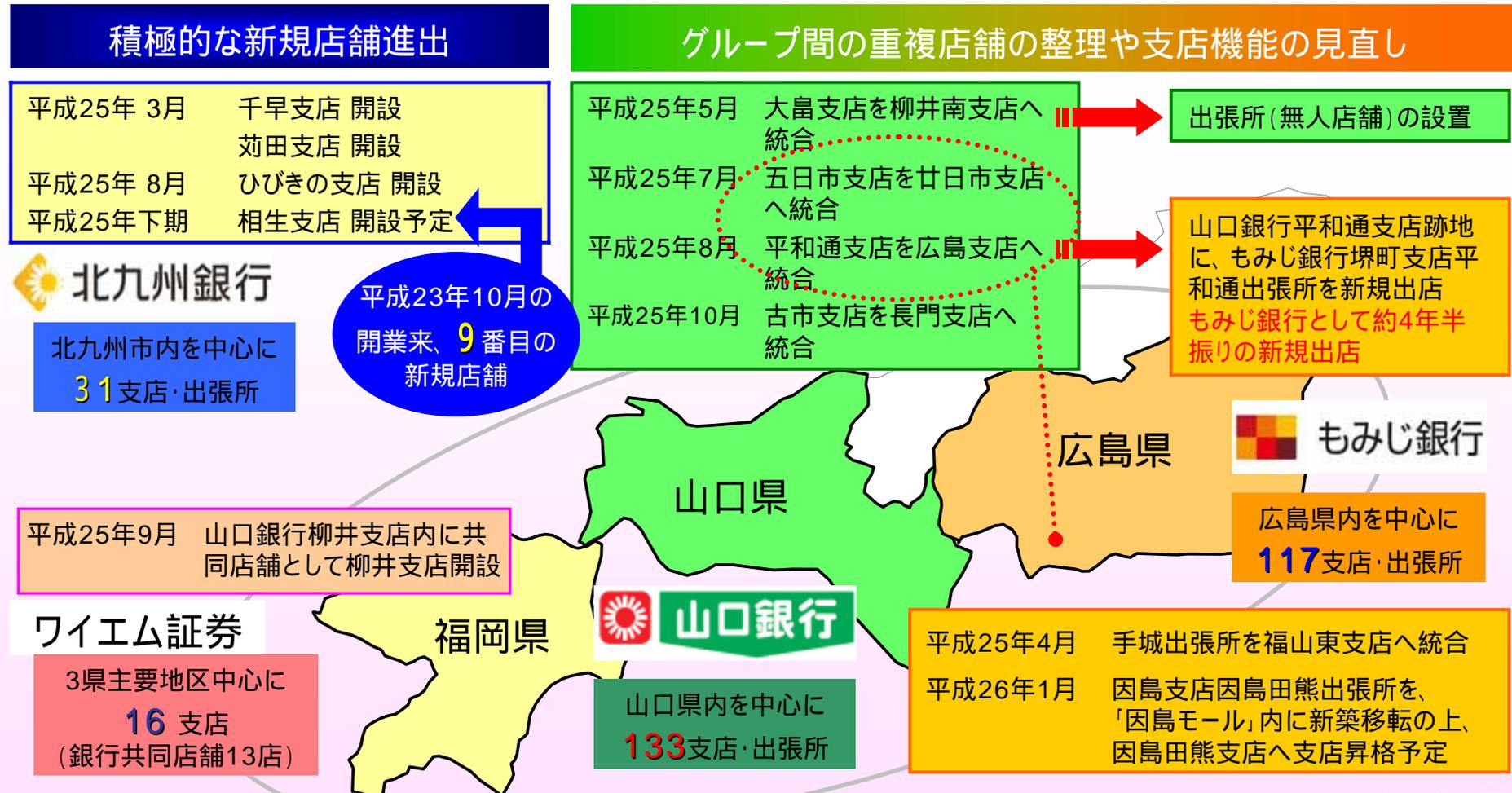
2. 地域とYMFGの共栄

- (1) 地域の活力を創造する
グループネットワークを活かした連携による地域活性化
アジアの成長の取込
- (2) YMFGのファンを増やす
お客さまから頼られるコンサルティング機能の発揮
感動を創造するCSの提供

3. 「一つのYMFG」を支える

経営基盤の強化

グループ間の重複店舗の整理や支店機能の見直し等を行う一方で北九州銀行の店舗拡充を図り、店舗網や営業体制の強化を進め、各銀行がそれぞれのブランドの強みを活かせる地域に深く関わっていく。



**県境を越えた
 広域金融グループネットワーク**

YMFGの国内ネットワーク数 **297**
 (平成25年10月31日現在)

統一イメージキャラクターによる広告展開や、グループ共通商品・キャンペーンの展開。
グループ内での人材交流の活発化、FGCSスタンダードへの取組など「YMFG」意識の醸成。

「応援してください」広告第1弾

(石川佳純選手:山口県出身)



「応援してください」広告第2弾

(中本健太郎選手:山口県出身、北九州市の(株)安川電機所属)



共通商品・キャンペーンの展開

- ・マイカーローン「金利優遇キャンペーン」
- ・フリーローン「金利優遇キャンペーン」
- ・「NISA Wチャンスキャンペーン」
- ・教育資金一括贈与普通預金 君の未来へ など

グループ人材戦略(グループ3行)

グループ人材の競争・連携を意識させることで、一体感を醸成し、「YMFG」への意識を構築。

グループ人事の一体化

- ・人事制度プラットフォーム(人事制度の枠組み)の標準化はすでに完了しており、今後は給与水準等の統一を実施する。
- ・現状、本部中心となっている人材交流を営業店でも本格実施していく。
- ・人事機能をグループで一体化し、適材適所の配置を進め、組織を活性化させる。

業績表彰制度の統一化

- ・YMFGトップ賞の設置(営業店単位、個人単位)

FGCSスタンダードへの取組

グループで目指すべきCSとして、グループ共通の取組を実施し、「YMFG」の一員としての意識を強化。

FGCSスローガン

- ・「最高品質のCSに挑戦～お客様の感動を創造する企業へ～」をグループ共通のCSスローガンとして設定
- ・グループの一員として必ず守るべきものとして全社員の行動指針

「見える化」による意識統一

- ・FGCSスタンダード実践DVDのグループ内共有

CS専担者によるグループ共通取組

- ・グループ共通のCS評価制度、CS取組施策

海外進出に係るコンサルティング力向上のため、他業界との連携を推進。
東南アジア等への進出ニーズに備え、国内他行・外銀との連携を強化。

東京センチュリーリースとの業務提携（H22年12月）

- 海外リース取引、延払貿易取引の紹介

日本通運との業務提携（H23年11月）

- 相互のお客さまに対する金融・物流サービスの提供
- 海外投資環境などに関する情報交換

セコム・総合警備保障との業務提携（H24年11月）

- 海外進出にかかるセキュリティーサービスの提供

損保ジャパン・東京海上日動火災保険・

三井住友海上火災保険との業務提携（H24年2月）

- 海外リスクマネジメント・コンサルティング支援

大和証券との業務提携（H23年11月）

- 海外M&Aマッチング支援

中国銀行(岡山)との業務提携（H23年12月）

北陸銀行(富山)との業務提携（H24年5月）

- 両行の海外拠点の相互活用

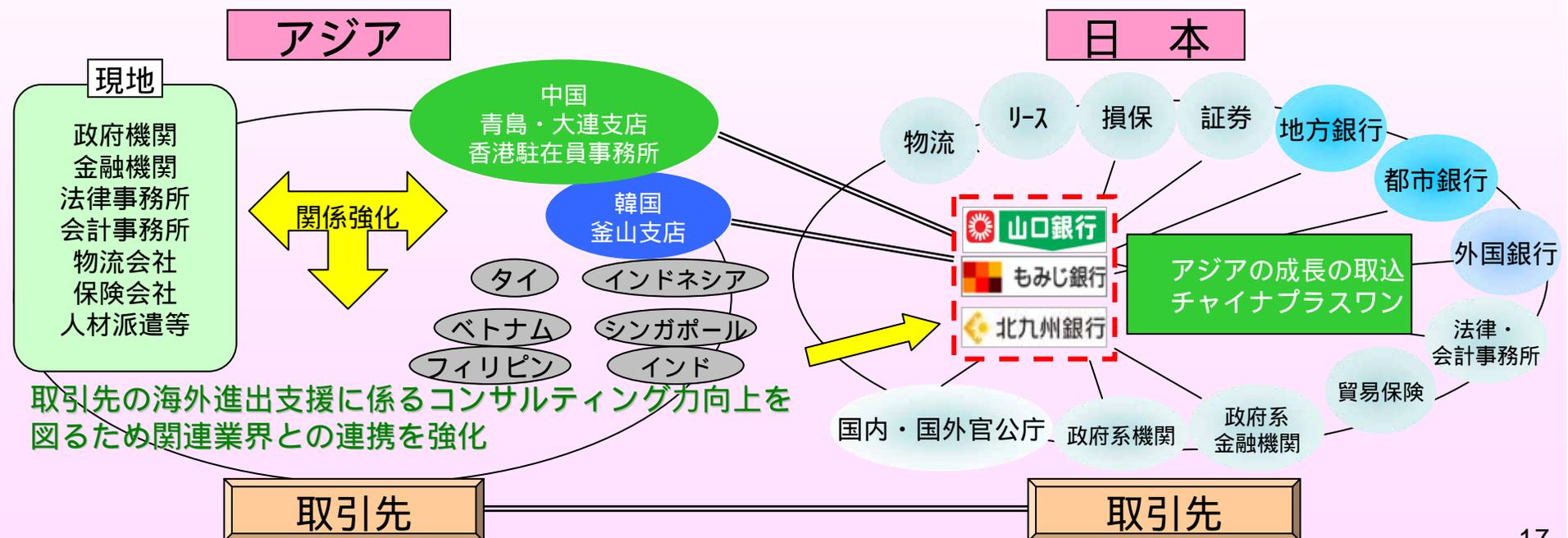
インド ストック銀行・バンクカ ラインド ネア・TMB銀行（タイ）

との業務提携（H25年3月）

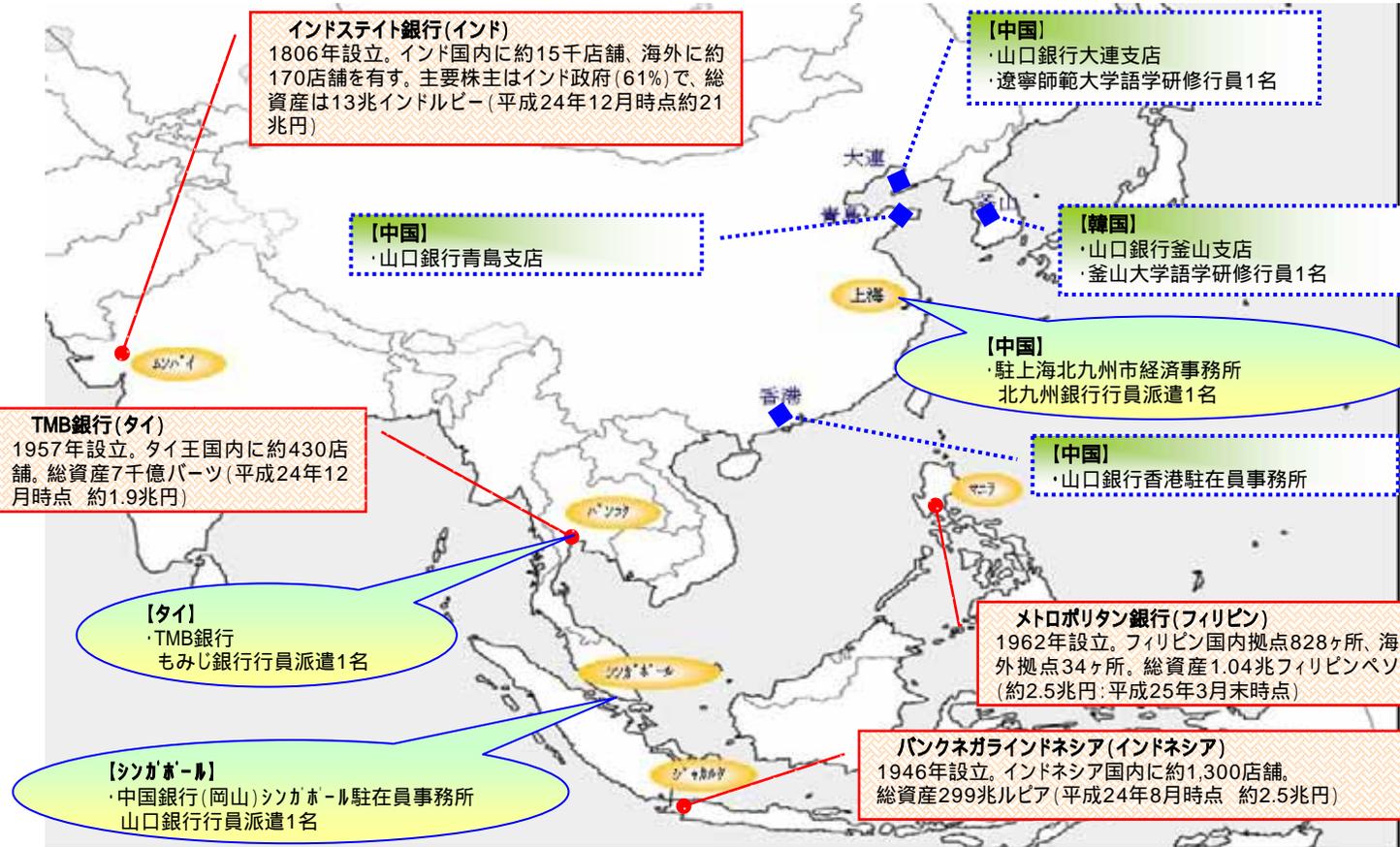
メト リタ銀行（フィリピン）との業務提携（H25年7月）

- 現地投資環境等の情報提供

- スタンバイL/Cによる海外現地法人への資金調達支援等



業務提携を行った金融機関などにグループ銀行の行員を積極的に派遣し、グローバルな人材を育成。
平成25年7月に、メトロポリタン銀行(フィリピン)と業務提携し海外進出支援体制を強化。



国際交流への取組

外務大臣表彰の受賞

平成25年7月に、山口銀行青島支店が平成25年度外務大臣表彰を受賞。

「外務大臣表彰」について

日本と諸外国との友好関係に多大な貢献があり、その中でも特段の功績があったと認められた、個人・団体に授与される。

受賞の背景

山口銀行青島支店のこれまでの日中友好親善を目的とした社会貢献および相互理解推進活動が評価されたことによるもの。
留学生受入支援、山口銀行杯日本語弁論大会の開催等積極的に行った結果、今回の受賞に結びついた。



(単位: 人数)

グローバルな人脈構築のための取組

海外からの留学生の受入

昭和61年より下関市立大学の聴講留学生の受入を開始。
青島市(中国)から始まり、現在は大連・タイ・トルコと多角的に受入を実施。
OBには現地の政府・金融機関の要職者が多く、当行の海外支援のパイプ役となる。

年度	青島	大連	タイ	トルコ	合計
平成24年度	2	1	1	1	5
平成25年度	2	0	1	1	5
過年度累計	55	31	34	26	146

グループ内コンサルティング会社「ワイエムコンサルティング」によるコンサルティング機能の活用。
グループ内証券会社「ワイエム証券」を活かした資産運用コンサルティングサービスの提供。

ワイエムコンサルティング



YMFGのコンサルティングサービスの中核を担う総合コンサルティング会社

グループ3行のお客様を主体に、多様なコンサルティングニーズ(経営改善・事業承継・相続・システム開発・社員育成など)にお応えし、コンサルティング収入は着実に増加

【下関本社】

コンサルティング収入等推移



「経営革新等支援機関」について

平成25年6月、経営革新等支援機関の認定を受け、中小企業庁補正予算事業となる「認定支援機関による経営改善計画策定支援事業」として、ワイエムコンサルティングの提供するサービスが経営改善計画策定費用他、諸費用に対する補助金支給の対象。

廉価なコンサルティング業務の提供が可能となり、地場の中堅・中小企業が利用しやすいサービス

ワイエム証券



【共同店舗】

銀行では取扱いできない幅広い金融商品のラインナップ及び専門的な人材による資産運用コンサルティングサービスを提供する証券会社

グループ3行からの仲介を中心とした資産運用ニーズへの積極的な対応により、口座数、預り資産残高ともに堅調に推移

口座数・預り資産残高推移



「NISA受付状況」(平成25年10月末)

グループの中心となって積極対応を展開。

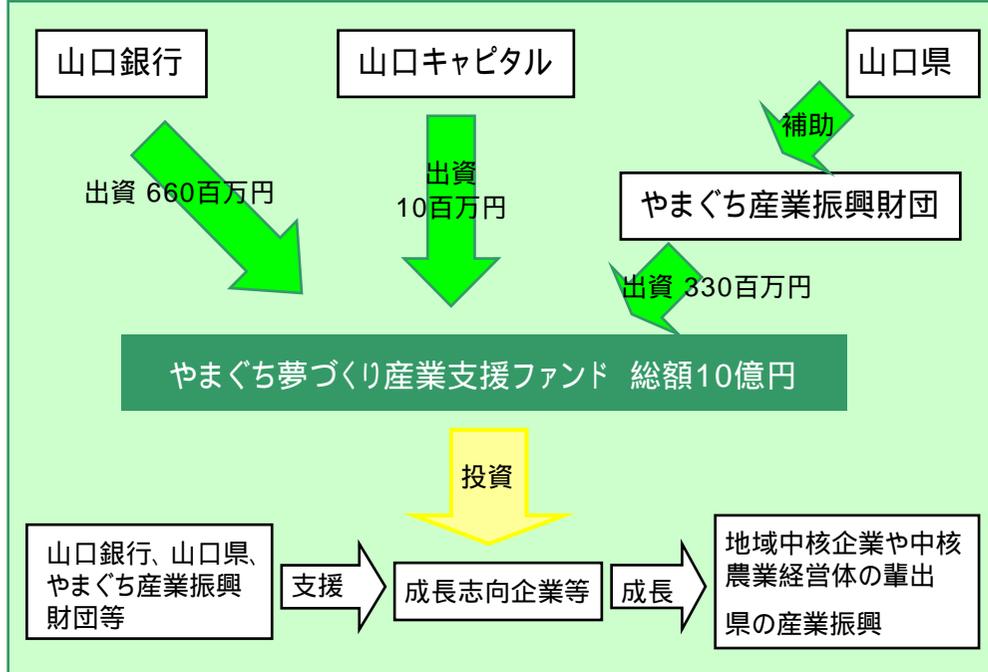
ワイエム証券	
件数	11,583

グループ商圏の活性化の為、地公体や大学等の専門家との連携により商工業・農林水産等分野を多角的に捉えた支援を行う。地域中核企業を創り出し、企業と共に強力な地場を形成。

「やまぐち夢づくり産業支援ファンド」の創設（山口銀行）

- ・創設日：平成25年4月5日
- ・創設目的
商工業を中心に農林水産業も含めた総合的な産業力強化を図るため、技術力のある中小企業の成長や農商工連携等に取り組む企業の育成を推進する。
- ・ファンド総額：10億円
- ・存続期間：10年

「やまぐち夢づくり産業支援ファンド」の概要



第1号投資

試験開発成型機の量産型への改良開発を支援

- ・投資実施日 平成25年9月
 - ・投資額 3,000万円
- 本事業により、既に試験開発している成型機を量産型成型機に改良（コストダウン及び品質向上）を行う。これにより大量生産が可能となり本格的な販売事業開始を図る。

第2号投資

ハイポー豚及び和牛肉加工品の開発・製造を支援

- ・投資実施日 平成25年10月
 - ・投資額 5,000万円
- 自社で生産している、高品質な豚肉・牛肉からの付加価値の高い新商品開発及び販路拡大の為取組。新たな加工場の建設と、これまでの卸売りに加え直売店での積極的な小売事業展開を図る。本件は、国の6次産業化にかかる総合化事業計画に認定。

その他、主な連携協力締結

株式会社民間資金等活用事業推進機構（25年10月）、国土交通省及び一般社団法人環境不動産普及促進機構（25年10月）、山口県産業技術センター（25年3月）、宇部市・宇部商工会議所等（24年7月）、広島県立総合技術研究所（24年3月）、九州工業大学（24年3月）等

成長分野、新たなビジネス機会の提供に努め、地域経済の活性化を図っていく。
既存事業からの再生支援としてファンドを活用し、新たに収益力のある事業への変革を支援。

成長分野への取組

- 成長分野に特化した専担者の配置(山口銀行、もみじ銀行)
- 特に環境・医療・農業等の成長分野向けの資金需要に対して、平成22年7月よりグループ独自の「ワイエム成長支援ファンド」にて積極的に対応
- 山口銀行では、独自の「山口の実り」、「やまぎんアグリサポート」、「やまぎんメディカルサポート」なども設定

【専用商品を利用した実行累計】 (単位:百万円)

	環境	医療	農業
山口銀行	901	405	254
もみじ銀行	3,290	310	100
北九州銀行	299	40	-

広域ビジネスマッチング

- 広域金融グループのネットワークを活かして、平成18年度より開催。
- 回をかさねる毎に、有効商談数が伸張。
- 第8回目を迎える平成25年度は、「農業・食・健康」をテーマとして開催予定。

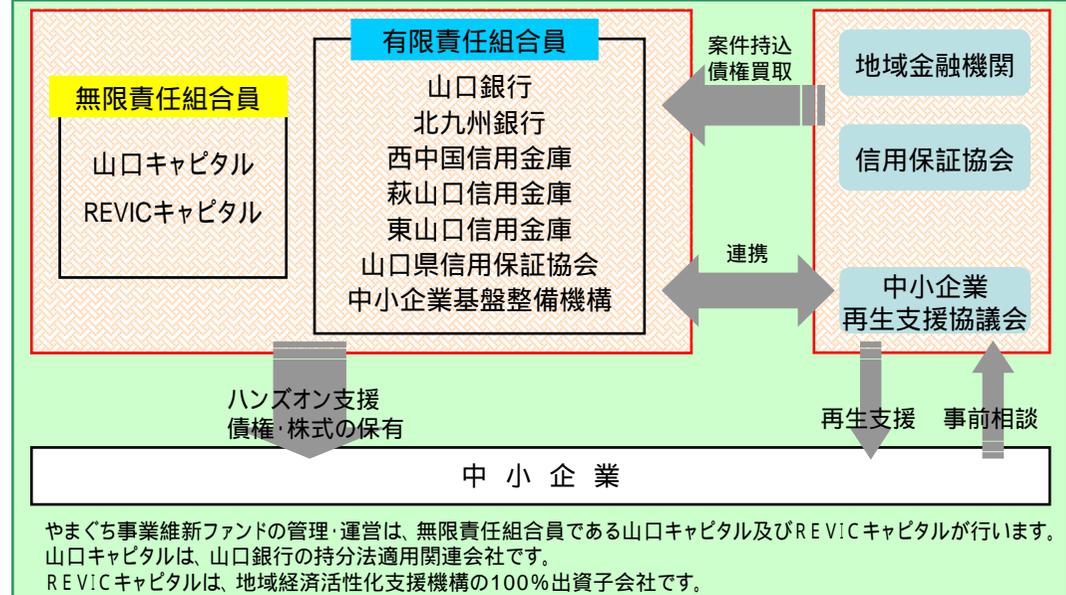
【商談件数実績推移】



「やまぐち事業維新ファンド」の創設(山口銀行・北九州銀行)

- 創設日:平成25年9月30日
- 創設目的
地域の経済活力や雇用について大きな役割を果たす中小企業の再生支援。
- ファンド総額:30億円
- 存続期間:8年(延長の場合あり)

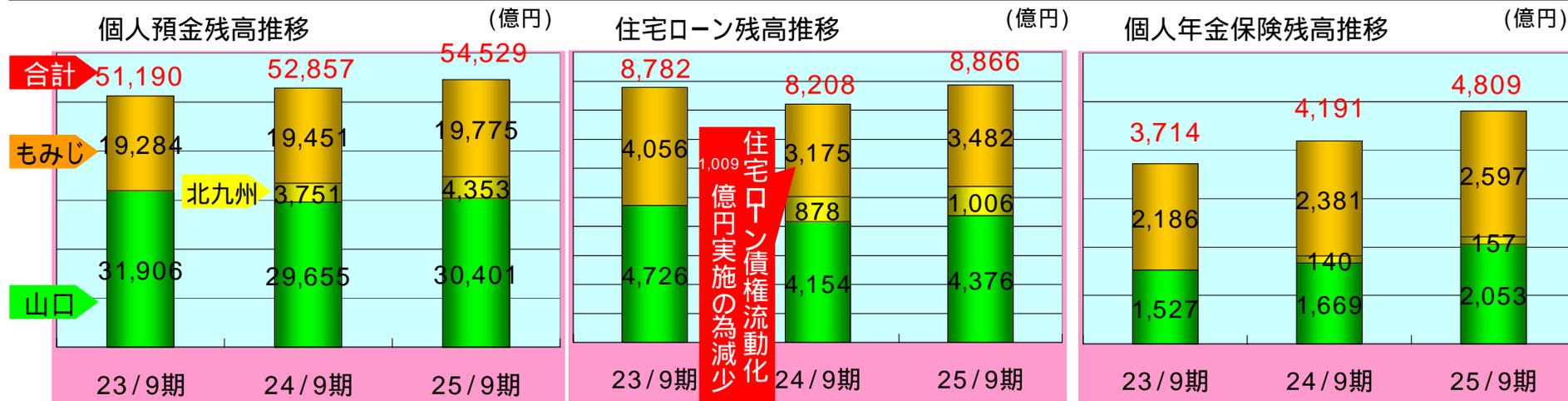
「やまぐち事業維新ファンド投資事業有限責任組合」の概要



中小企業再生ファンド「せとみらいファンド」への出資(もみじ銀行)

- 創設日:平成24年12月1日
- 創設目的
広島県内の地元金融機関及び(株)日本政策投資銀行との協調出資により組成された事業再生ファンドの活用により、企業に最適なソリューションを提案するとともに、企業の早期事業再生を通じて地域経済の活性化に資する。
- ファンド総額:32億円(うち5億円をもみじ銀行にて出資)
- 存続期間:5年(延長の場合あり)

顧客ニーズに合わせた個人預金・個人年金・個人ローンの提供により年々残高増加。
地元スポーツ団体とのコラボレーション商品のリリースによる、顧客・銀行一体となつての応援活動。



・地域の特色を活かした積極的な預金商品の販売により、北九州銀行を中心に個人メイン化を推進。

・推進地区への住宅ローン専担者の配置、休日稼働の専門店舗の展開により、新築案件の獲得と他行肩代わり推進の両立を実現。

・資産運用研修の充実による専門家の育成、女性渉外の積極的な登用による営業力の強化により販売体制を増強。

多彩な年齢層の取り込み

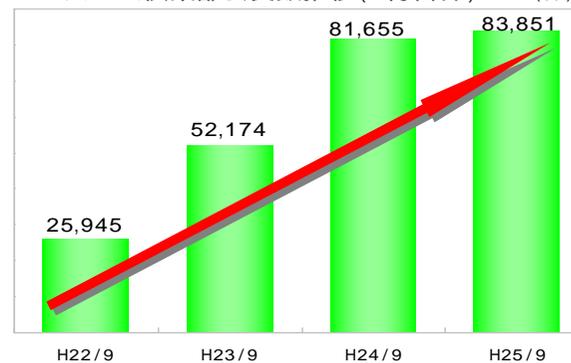
世代に応じた商品提供により若者からシルバー世代まで全層のメイン化を図る。

- ・若年層、子育て層 コンビニATM手数料時間内無料化による利便性の追求
- ・富裕層 会員制サービス「YMドリーム倶楽部」での優遇サービスの提供
- ・プレ年金受給者層 年金受取手続きのご案内、「退職記念」定期預金での退職金集約によるシルバー時代の相相談としての存在感

「退職記念」平成25年10月末実績
(平成25年3月より取扱開始)

	件数	金額
3行合算	403件	54億円

YMドリーム倶楽部会員数推移(3行合算) (件)



【カープデザイン通帳】



【ギラヴァンツ定期預金】



2006年10月に上場して以降、2008年頃からは銀行株指数を上回って推移。
直近の山口FG株価は**955円**(山口FG上場時比**57.2%**)。

